

報告会を開催

平成 27 年 5 月 16 日 (土) に『第 4 回 議会報告会』を秦野商工会議所で開催しました。
今回は、初の試みとして講演会を併せて開催し、80 人の方にご参加いただきました。



●第 1 部 議会報告

議会報告は、各分科会の座長から予算審査の内容(前号の議会だより「予算審議」の記事と同じ内容)を報告した後、分科会所属の議員からそれぞれ審査のポイントを報告する形で行いました。その後、事前に頂いた質問や会場での質問にお答えしました。その内容を一部紹介します。

総務分科会 報告

座長：山下博己 議員

【各議員がコメントした審査のポイント(要約)】

- 小菅基司 議員：大雪への対応や、新東名高速道路建設に伴う消防の対応などの質疑をした。
- 村上 茂 議員：人口減少社会を迎えるに当たり、市民力・地域力を強化させるための質疑をした。
- 和田厚行 議員：臨時財政対策債が増えざるを得ない状況であることに留意するよう指摘した。

【事前に寄せられた質問等(要約)】

- 質問等** 市の借金、760 億円は妥当であると考えているのか。
- 回答** 多額な費用を要する建設事業などは、その施設を将来利用する市民にも負担してもらうため借金をしている。その累積が 760 億円である。毎年の借金の額が妥当かどうか、その都度監視していきたい。(山下博己座長)

文教福祉分科会 報告

座長：川口 薫 議員

【各議員がコメントした審査のポイント(要約)】

- 八尋伸二 議員：宮永岳彦記念美術館のカルチャーパークへの移転・複合化を提言した。
- 野田 毅 議員：生活保護には至らない生活困窮者を救済するための自立支援法に基づく事業について質疑をした。
- 横溝泰世 議員：ひきこもりなどの対策や福祉環境整備の視点から、コミュニティ形成の質疑をした。
- 高橋文雄 議員：市民の健康を守る視点から糖尿病予防の啓発について、家庭内で話し合うことなどを提言をした。

【事前に寄せられた質問等(要約)】

- 質問等** 秦野赤十字病院の産婦人科医引き揚げ問題について、議会はどのように行動したのか。
- 回答** 県と連携し、各方面との交渉などを行っている市当局をサポートしている。全国的な産婦人科医の不足が問題の根底にあるため、現在は助産師による分娩業務再開に向け、助産師の育成・確保を進めているとのことである。議会としてもあらゆる手法を考えていきたい。(川口 薫座長)

環境産業分科会 報告

座長：古木勝久 議員

【各議員がコメントした審査のポイント(要約)】

- 風間正子 議員：蓑毛の自然・歴史を観光資源として活用するため、コースの整備やPRなどの提言をした。
- 木村真澄 議員：本市は原則、井戸の設置を認めていないが、災害用の井戸は認めるべきであると提言をした。
- 露木順三 議員：本市の地下水汚染対策はまだ終わっていないことから、基金の積み立てを強く要望した。
- 横山むらさき議員：農業の担い手不足を補う福祉と農業の連携や、プレミアム商品券の発行を要望した。

【事前に寄せられた質問等(要約)】

- 質問等** プレミアム商品券を再度発行してほしいが、考えはどのようなか。
- 回答** 平成 27 年度のプレミアム商品券発行に係る予算は、国の交付金を活用し、確保されている。議会としても前回の事業を検証し、より良い事業となるよう求めている。(古木勝久座長)

都市建設分科会 報告

座長：阿蘇佳一 議員

【各議員がコメントした審査のポイント(要約)】

- 高橋照雄 議員：東海大学生の通学路となる市道の階段部分について、エスカレーター設置事業の進捗よく状況を確認した。
- 折口隆二郎 議員：日産車体社宅跡地買収に伴い、川沿いの道路に右折レーンを設置することは意義があると評価した。
- 佐藤文昭 議員：歩行者の安全のため、渋沢・曲松から線路沿いを通る市道の歩道設置・拡幅を強く要望した。
- 大野祐司 議員：定住化促進住宅への子育て支援施設の設置の提案や、水道事業の赤字問題についての質疑をした。

【事前に寄せられた質問等(要約)】

- 質問等** 秦野市域の建築物耐震対策はどうか。
- 回答** 市内民間住宅の耐震化率は、77%であり、議会としても積極的な周知・啓発に努めていきたい。(阿蘇佳一座長)

任期満了を迎えるに当たり 議会活性化特別委員会から

中間報告

今任期の開始とともに設置した議会活性化特別委員会は、4 年間にわたり「議会基本条例の基本理念にかんがみ、一層の議会の活性化と機能の強化を図る」ことなどを目的に調査・研究活動が続けてきましたが、任期満了を迎えるに当たり、6 月 22 日の本会議で委員長からその中間報告を行いました。

▼調査・研究経過

秦野市議会では、前任期の平成 21 年第 1 回定例会において議会活性化特別委員会を設置しました。主に「議会基本条例」について議論を交わし、平成 23 年第 2 回定例会で、「秦野市議会基本条例」を提出し、原案可決しました。平成 23 年の任期開始とともに、再度設置された議会活性化特別委員会は、この「議会基本条例」の基本理念にかんがみ、一層の議会の活性化と機能の強化を図るとともに、特に適正な議員の定数について、検討するため、設置をしました。

▼議員定数について

「社会情勢の変化や、本市の財政状況から、また、市民要望を踏まえて、議事機関・監視機関としての機能をより強化しつつ、議会改革を進める中で、議員定数を削減する必要がある。」との意見がある一方、少数意見として、「市民の声をくまなく議会へ反映させることが大事であり、執行機関に対する監視機能を果たしていくためには、現状の定数を維持することが必要である。」との意見がありました。

▼議員報酬について

この委員会は、設置以降、会議を 41 回にわたり開催し、議員定数のほか、議員報酬、議決事件の追加、議会報告会、通年議会など、議会の活性化に向けた諸課題について、調査・研究を進めるなど、積極的に活動しました。

▼終わりに

議会活性化の取り組みは、他の地方議会においても、さまざまに取り組みが行われていますが、共通した正しい道筋が存在するわけではありません。それぞれの地域に合った方向性を見出し、さらに社会情勢の変化により対応していく必要もあり、終着点のない命題でもあります。

秦野市議会においては、前の任期も含め、6 年余り、議会活性化の取り組みが続けてきました。

ここで改選を迎えることになりましたが、新たな議会構成において

▼議員報酬について

特別職報酬等審議会へ諮問を依頼